

2011年・春 宗像ユリックスプラネタリウムは生まれ変わります！

美しい星空を魅せる「光学式プラネタリウム」、ドーム全体に広がる「高精細映像」、そして、宇宙のすべての地図が搭載されている「宇宙シミュレーションソフト」の組み合わせにより、今までにないプラネタリウムをご覧いただけます。



九州初導入！ 肉眼で見ることができる最良の星空を再現 カール・ツァイス社製 スカイマスターZKP4

世界的光学メーカーとして知られるカール・ツァイス社（ドイツ）は、1923年に世界で初めて光学式プラネタリウムを製作した老舗メーカーで、世界最大のプラネタリウムメーカーです。
しかし、日本では現在は3施設だけの運用にとどまっており、九州では初めての導入となります。

今回導入されるプラネタリウムは、星の数は肉眼で見える6.3等級・7,000個とこれまでのプラネタリウムとさほど変わりませんが、他社にはない光ファイバー技術が導入されており、星がとてもシャープであること、さらに肉眼で色別可能な1.6等級までの星にはすべて色がついており、一つ一つの星が綺麗に輝き、美しい星空をご覧いただけます。

(C) Carl Zeiss AG

西日本初導入！ 地球の星空から宇宙の果てまで ユニビュー + ステラドームプロ

宇宙シミュレーションソフト「ユニビュー」は、アメリカ自然史博物館・スウェーデンのSCISS（スキッス）と日本のオリハルコンテクノロジーにより開発されているもので、西日本では初めての導入となります。
ユニビューには、現在までの観測によりわかっている宇宙のすべての地図「デジタルユニバース アトラス」が入っており、美しい地球の姿や、太陽系の様々な天体はもちろんのこと、星雲・星団・銀河、さらには宇宙の彼方まで、マウス一つで操作を行うことが可能です。その他に、地上の星空を再現する ステラドーム プロにより、光学式プラネタリウムではできない、地上で起きる様々な天文現象等をリアルに再現します。



ユニビューで再現した地球 (C) Uniview / Orihalcon



地上の星空と星座絵 (C) AstroArts



世界最高水準 高密度なドーム映像を実現！ 日本ビクター製 DLA-SH4K

高精細映像で有名なこのプロジェクターに、特注の魚眼レンズを使用することで、高精細＝密度の濃い映像をご覧いただくことが可能となります。

これは、世界のプラネタリウムにおいても極めて高水準となっております。

このプロジェクターの導入により、様々なプラネタリウム映像を始め、宇宙シミュレーションソフトと組み合わせて、宇宙の美しい姿をお楽しみいただけます。

現在のプラネタリウムは、11月28日（日）までの公開となります。